



# ハイチにおける大地震 ～情勢～

平成22年1月26日  
外務省中南米局

## ★地震発生

- ・日時: 1月13日午前6時53分  
(現地時間12日午後4時53分)
- ・場所: 首都ポルトープランス郊外約15km
- ・規模: マグニチュード7.0  
(その後も断続的な余震。20日にはマグニチュード5.9規模の地震)



## ★被害状況

- ・死者数: 15万人以上
  - > 国連職員はアンナビ国連事務総長特別代表等(大半はPKO要員)が死亡。
  - > 22日(現地時間)、ハイチ政府は生存者の捜索・救助活動を打ち切る。
- ・家屋損害: 30万人が家屋を損失。  
(被災地中心部では建物の8~9割が損壊。)
- ・インフラ: 被災地では壊滅的打撃。  
: 空港再開。港湾施設も一部復旧。
- ・通信: 一般に極めて不安定。
- ・治安: 17日に非常事態宣言。MINUSTAH等により一定の治安維持。



- 1804年1月1日独立(中南米で最初に独立)
- 国土 27,750km<sup>2</sup>(北海道の約3分の1)
- 人口 950万人(07年世銀)
- 首都 ポルトープランス(人口約250万人)
- 言語 仏語、クレオール語
- 政体 立憲共和制
- 元首 ルネ・ガルシア・プレヴァル大統領  
(06年5月就任、任期5年)
- GNI 4,118百万ドル、
- 一人あたりGNI 560米ドル(07年世銀)
- 通貨 グルド(1米ドル≒37グルド)



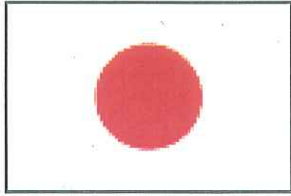
★邦人安否

・地震発生当時ハイチにいた可能性のある邦人23名の無事を確認。

★在ハイチ大使館の状況

・大使館仮事務所を市内ホテルに設置。





## 我が国の対ハイチ緊急・復興支援



### 1. 総額約7,000万ドルの支援を発表

#### (1) 緊急支援(約2,500万ドル超)

(イ) 国際機関経由の食料・給水・シェルター等の支援

(500万ドル(14日)+2,000万ドル(26日))

(ロ) 緊急援助物資の供与(約30万ドル)

(ハ) レオガン市における国際緊急援助隊医療チーム及び自衛隊部隊の医療活動

(ニ) 日本NGO活動支援(最大100万ドル)

#### (2) 復興支援(約4,500万ドル)

(1) 国際機関等が実施する復興支援ニーズ調査ミッションへの参加

(2) 復興支援ニーズ調査を踏まえた防災・医療等の分野の支援

### 2. 国連PKOである国連ハイチ安定化ミッション(MINUSTAH: ミヌ

スタ)への自衛隊施設部隊の派遣を行う用意がある旨国連に対













し通報(25日)



# ハイチに対する国際社会の反応・支援



平成22年1月29日 外務省

	<b>日本</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●総額約7,000万ドル(緊急支援として2,500万ドル超、復興支援として4,500万ドル)の支援を行う旨表明。</li><li>◆緊急援助隊医療チーム25名及びこれを引き継ぐ緊急援助隊自衛隊部隊約100名を派遣、レオガンで医療活動。</li><li>◆ハイチPKOへの自衛隊施設部隊の派遣を行う用意がある旨国連に通報。</li></ul>
	<b>米国</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●緊急復興支援のため1億8000万ドル拠出。</li><li>◆米国国際開発庁の災害援助対応チーム、沿岸警備隊、南方軍等が現地に派遣され支援業務を実施。</li></ul>
	<b>中国</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●約440万ドルの人道援助物資提供。中国赤十字本部は100万ドルの拠出表明後、260万ドルの追加支援。</li><li>◆40名の国際救援隊、及び同隊活動終了後40名の医療防衛隊派遣。</li></ul>
	<b>EU</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●緊急及び中期支援として4億2千万ユーロの拠出を決定。</li><li>◆EU警察部隊300人超の派遣を決定。</li></ul>
	<b>英国</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●3200万ドルの人道支援拠出を表明。</li><li>◆緊急支援の評価ミッションを派遣した他、捜索・救助チームを派遣。</li></ul>
	<b>フランス</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●国連のフラッシュアピールに対し、1000万ユーロの拠出を決定。</li><li>◆130名の消防部隊・救助部隊医療チームを派遣。土木機器、人道支援物資を積載した軍艦も派遣。</li></ul>
	<b>スペイン</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●300万ユーロの拠出表明。</li><li>◆人道支援の専門家チーム派遣。人道支援物資空輸を実施。</li></ul>
	<b>ドイツ</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●食糧援助・緊急人道援助に総額750万ユーロの拠出を表明。</li></ul>
	<b>ブラジル</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●約2億3千万ドルの資金供与及び約2億1千万ドル相当の支援パッケージを行う用意がある旨表明。</li><li>◆MINUSTAHへの派遣要員(2009年12月現在1,284)を1,300人増員することを承認。</li></ul>
	<b>カナダ</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●既に発表していた5,000万加ドルに加え、加国民による6,700万加ドルをあわせて支援額とする旨発表。</li><li>◆援助隊が現地で活動。</li></ul>
	<b>韓国</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●官民合計の支援規模が1,500万ドルを上回った旨発表。</li><li>◆S&amp;Rチームを派遣。ハイチPKOに200人派遣を決定。救援活動を支援する臨時事務所を設置、3名を派遣。</li></ul>
	<b>国連</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●今後半年のニーズをカバーする総額として5.75億ドルのフラッシュアピール発出。</li><li>◆安保理がハイチPKOの軍事要員増員(上限8940名)、警察要員増員(上限3711名)に関する決議採択。</li></ul>